

総務副大臣 上川陽子先生



かな子ママ  
9歳、7歳、5歳、1歳の四姉妹のママ。和裁士として自宅で仕事をしているが、子育てで家事に追われ時間が作れないのが悩み。

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

上川：「対等」というのは、女性も男性も同じように仕事をする事ではないんですよ。対等とは、男女どちらも自分の生き方を自分でマネージできる関係性の事だと思っ。本当にしたい事だったら、自分でパシッとドアを広げようと思うんだ。自分の身の生き方に対して、自分で責任を持つ事が大事だと思うの。

かな子ママ：子どもの手が離れたらできると思えばいいのですが「今やりたい」と思う時はどうすれば？  
上川：大変な時こそ、自分の心の中の部分が出てくる。そこで葛藤して何かを選ばなければいけません。そのプロセスが大事。気持ち全部押し殺して「私は今こうしなきゃいけない」と思い込むと自分自身が潰れちゃう。人は

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

かな子ママ：私も母が父に尽くす家庭に育ったので、やっぱり「そうしなきゃ」と自分がやりたい事もあるけど、子どもの事を考えるとあきらめがちです。最近ママさんバレーを始めたのですが「子どもを連れていくのは難しいかな」と悩んだりして。そういう考え方を変えたいとも思うのですが、子どもに対しては「将来は旦那さんに尽くす奥さんになって欲しい」と思う気持ちもあるんです。男女は対等と言っても、産むのも、母乳が出るのも女性。線を引くべきだとも思うんですけど...

座談会に参加してみよう

愛ママ  
上川先生が、同じ女性として静岡から国を変え、世の中をよくするために動いてくださっていることにすごく感謝しています。不平不満も含め(笑)、ママたちの声が先生を通じて輪になっていけばいいな。

かな子ママ  
私の中にあつたネガティブな考えも、言葉にして話し、皆さんに意見をもらえたことで、何かが変わった気がします。いろんなことが再確認できた貴重な体験になりました!

季恵ママ  
上川先生の「今がいちばん大変で、後から考えればいちばんよかったって思える時期」という言葉にすごくほっとしました。いつもガミガミ怒っていた自分を反省しつつも、今がいちばんいいんだって思えました。

晶子ママ  
同じ静岡県に暮らしている、子育て真っ最中の方々とお話できてよかったなと思います。私たちが日々感じていることを上川先生に吸い上げていただき、社会に反映していただけるよう、期待しています!

佳子ママ  
上川先生の「対等とは自分の生き方を自分でマネージできること」という言葉がとても印象に残りました。勇気を出して参加して、上川先生とお話できて、すごく楽しかったです!

愛ママ  
私は「何でもやってあげないと」と思う気持ちが強くて。私自身、専業主婦だった母に何でもしてもらえなかった環境で育ってきたから「自分もそうしなきゃ」という呪縛があったと思う。仕事をあきらめたママの中にも、そういう人が多いと思います。

熱がある子どもを置いて仕事に行く自分を許せる?

上川：今日は子育て中の皆さんの思いや悩みを聞かせてもらって、子育て環境づくりや女性の活躍推進のための施策に取り入れたらいいと思います。  
愛ママ：来年4月、下の子が保育園に入ったら仕事に戻りたいです。でも、迷いがあります。例えば熱がある子どもを置いて働く自分を許せるのか? 働いているママはそんな思いを抱えているのではないのでしょうか?

上川：「子どもと関わっていない」と焦る気持ち、お母さんにはすごくあると思う。でも、あれもこれもと手をかけるのではなく、むしろそぎ落とすこと。子どもの個性と向き合ったら、何が本当に大事なのかをみつめれば、その子はちゃんと伸びていきます。もちろん、妥協することもあるし、完璧にやるのは無理。私自身も、最大限のサポートをいただきました。シルバークンセンターで出会ったおばあちゃん、子どもが病気の時も「がんばって働いてきなさい」と送り出してくれました。主人の姉や、静岡の父母を頼ることもありましたが、そんな経験から、子どもたちを地域で見守り、手を差し伸べる環境の整備を心がけています。困窮世代の方たちに子育てで援助者として活躍していただく「イクジージ」や、「イクバアー」制度「保育ママ制度」など、その一つです。

上川：振り返ってみると、子育て期間って、自分がいちばん一生懸命がんばっていた時だった気がします。今すごく分かるけど、苦しい事も色々ある。この時って、長い人生のほんの一時なの。皆さんも人生を振り返った時、ぶつかりながら必死にやっていたのが、一番輝いていたって思う時がきっとくる。だから、悩んでもそこに留まらず、思った事を実現して。2人目、3人目が欲しいと思えば産んで欲しい。サポートの手は絶対出てくるから。私も、今日は一生懸命子育てしている皆さんの姿を見て、本当にかんばってこれからもやり続けたいな、と思いました。色んなヒントもいただいたので、これからもトライしていきます!

上川：少しは目をつぶる余裕がないと、お母さんが全部やる事になっちゃう。すごく気になると思うけど、「手伝ってもらえてうれい」って思える気持ちも必要です。

愛ママ：私は「何でもやってあげないと」と思う気持ちが強くて。私自身、専業主婦だった母に何でもしてもらえなかった環境で育ってきたから「自分もそうしなきゃ」という呪縛があったと思う。仕事をあきらめたママの中にも、そういう人が多いと思います。

上川：少しは目をつぶる余裕がないと、お母さんが全部やる事になっちゃう。すごく気になると思うけど、「手伝ってもらえてうれい」って思える気持ちも必要です。

総務副大臣 上川陽子先生×クルールママ座談会

子育て中の今が、人生でいちばん輝いているとき。そう思える日がくるから、悩んでも前進していこう。  
今回は、クルールママと上川先生のスペシャル座談会を開催! 仕事との両立や保育園のこと、日々の悩みや迷い。ママたちのさまざまな本音を、上川先生と語り合いました!

上川：「子どもと関わっていない」と焦る気持ち、お母さんにはすごくあると思う。でも、あれもこれもと手をかけるのではなく、むしろそぎ落とすこと。子どもの個性と向き合ったら、何が本当に大事なのかをみつめれば、その子はちゃんと伸びていきます。もちろん、妥協することもあるし、完璧にやるのは無理。私自身も、最大限のサポートをいただきました。シルバークンセンターで出会ったおばあちゃん、子どもが病気の時も「がんばって働いてきなさい」と送り出してくれました。主人の姉や、静岡の父母を頼ることもありましたが、そんな経験から、子どもたちを地域で見守り、手を差し伸べる環境の整備を心がけています。困窮世代の方たちに子育てで援助者として活躍していただく「イクジージ」や、「イクバアー」制度「保育ママ制度」など、その一つです。

上川：少しは目をつぶる余裕がないと、お母さんが全部やる事になっちゃう。すごく気になると思うけど、「手伝ってもらえてうれい」って思える気持ちも必要です。

上川：少しは目をつぶる余裕がないと、お母さんが全部やる事になっちゃう。すごく気になると思うけど、「手伝ってもらえてうれい」って思える気持ちも必要です。

上川：少しは目をつぶる余裕がないと、お母さんが全部やる事になっちゃう。すごく気になると思うけど、「手伝ってもらえてうれい」って思える気持ちも必要です。

PROFILE  
上川 陽子 (かみかわ ようこ)  
総務副大臣  
1953年静岡県生まれ。東京大学(国際関係論専攻)、ハーバード大学ケネディスクール(政治学修士)修了。三菱総合研究所研究員などを経て、2000年静岡県一区より衆議院議員に初当選。当選4回、内閣府特命大臣(少子化対策・男女共同参画)、公文書管理担当大臣(2008)などを歴任。2013年9月より現職。  
かみかわ陽子オフィシャルサイト  
<http://www.kamikawayoko.net/>

佳子ママ：私がいた職場では女性の活用も重視していましたが、女性に優しい制度は、あってもほとんど使えなくて。結局は退職し、数年間は子育てに専念しました。でも、社会と接したい気持ちはずっとあり、昨年「ライフオーガナイザー」という、お片付けに関する資格を取りました。モノだけでなく思考も整理する事で、その人に合った暮らしの仕組み作りをサポートする仕事です。勉強して気づいたのですが、私は夫と子どもに自分の片付け方を押し付けていたんです。ま、それが独りよがりだったと気づき、家族みんなの意見を取り入れて家事を仕組み化しました。それで、私の負担も軽くなりました。

佳子ママ：私がいた職場では女性の活用も重視していましたが、女性に優しい制度は、あってもほとんど使えなくて。結局は退職し、数年間は子育てに専念しました。でも、社会と接したい気持ちはずっとあり、昨年「ライフオーガナイザー」という、お片付けに関する資格を取りました。モノだけでなく思考も整理する事で、その人に合った暮らしの仕組み作りをサポートする仕事です。勉強して気づいたのですが、私は夫と子どもに自分の片付け方を押し付けていたんです。ま、それが独りよがりだったと気づき、家族みんなの意見を取り入れて家事を仕組み化しました。それで、私の負担も軽くなりました。

